

地震・津波避難訓練週間について

訓練週間を設定し、次のとおり広報かまいし8月15日号で市民の皆さんへ周知しました。

一人一人が避難行動を実践してみましょう 地震・津波避難訓練週間

期間中、都合の良い日に必ず1回は自主避難訓練をしましょう。

なお、新型コロナウイルス感染予防のため、例年、9月1日（防災の日）に実施している「地震・津波避難訓練」は中止します。

期間 9月1日(水)～7日(火)

訓練対象者 市内に居住または勤務している人

想定内容 日本海溝沿いでマグニチュード9.1の地震が発生。釜石では震度6弱の揺れを観測。
地震発生から3分後に気象庁から大津波警報が発表された

【津波到達予想時間を地震発生から15分後と想定】

訓練時の津波到達想定時間

内閣府が公表した「日本海溝（三陸・日高沖）モデル」によると、震源は東日本大震災時のすべり分布よりも釜石に近く、東日本大震災時よりも津波が早く到達する可能性があります。

また、平成15年～16年に県が行った津波浸水想定では、釜石への津波影響開始時間が、早い所で15分～17分と想定されており、迅速な避難行動の目安として地震発生後「15分」と設定しました。

訓練内容

- ① 個人や家族、職場の仲間とともに、その時いる場所で大きな地震が発生したと想定して「身を守る」行動をしましょう
- ② 自宅や職場、学校、幼稚園などから、近くの津波災害緊急避難場所や高台など、危険を回避できる場所への避難訓練をしましょう
- ③ 避難開始までの手順や緊急持ち出し物品などの確認をしましょう
 - ・避難は徒歩避難が原則です
 - ・マスク着用などの感染予防対策を徹底し、避難場所到着後は速やかに解散しましょう
 - ・訓練用の緊急地震速報の警報音やサイレン音は鳴らしません

お願い 町内会や企業・団体などのさんは、訓練を行った日時、参加人員、訓練内容などを市防災危機管理課までお知らせください